

(別紙)

1 兵庫県知事が定める新品種の導入（2万円/10aの取組のイの①）

No.	品種名	品種の特徴や生産体制の強化につながる内容	生産者が導入したことを確認する方法の例
1	いちご 「兵庫 I-3 号」 (あまクイーン)	香りが高く、糖度が高い。果実が柔らかく、観光農園等での顧客獲得につながる。	苗の購入伝票もしくは許諾証 栽培履歴記帳
2	いちご 「兵庫 I-4 号」 (紅クイーン)	ボリューム感と濃赤色であり、ケーキや加工むけの需要開拓が期待できる。	苗の購入伝票もしくは許諾証 栽培履歴記帳

2 兵庫県知事が定める新技術の導入（2万円/10aの取組のイの②）

（1）野菜

No.	作物名	技術名	技術の特徴や 生産体制の強化に つながる理由	生産者が導入したことを確 認する方法の例
1	ヤマノイモ ピーマン	かん水施肥シス テムによる日射 量に応じたかん 水技術の導入	日射と土壌水分センサ ー等の情報から、最適 量の給液を自動で行う ことで品質・収量の向上 につながる。	機器の購入伝票 ハウス内での機器の写 真
2	トマト、い ちご	施設環境制御シ ステムによる統 合的な環境制御 技術の導入	ハウス内の環境（温度、 湿度、CO2濃度、日射 量等）を計測し、最適 な栽培条件となるよう 環境を制御することで 品質改善可能であり、 生産安定・収益改善に つながる。	機器の購入伝票 ハウス内での機器の写 真
3	トマト、い ちご	細霧噴霧による 気化冷却技術の 導入	施設内に設置したノズ ルより、ミスト噴霧す ることで、施設内温度 を低下させることで収 量向上につながる。	機器の購入伝票 ハウス内での機器の写 真
4	レタス	気象データを活 用した出荷予測 技術の導入	播種、定植日と温度、 日射量などのデータ から出荷時期を予測 し、事前に出荷計画 を立てることで、労 務管理の効率化に つながる。	システムの利用記録
5	いちご	UV蛍光灯によ る病害防除技術 の導入	UV蛍光灯による病害 （うどんこ病）防除 により生産安定に つながる	栽培履歴記帳 ハウス内での機器の写 真
6	いちご	局所温度制御技 術の導入	根域を局所的に加温 （冷却）することで、 低コストでの温度制 御ができ生育初期の 収量向上につながる。	機器の購入伝票 ハウス内での機器の写 真

(2) 花き

No.	作物名	技術名	技術の特徴や生産体制の強化につながる理由	生産者が導入したことを確認する方法の例
1	ストック、トルコギキョウ	遠赤色 LED を利用した開花促進技術の導入	LED 電球の導入により、開花促進につながる。また、コスト低減により収益が改善する。	機器の購入伝票 ハウス内での機器の写真 機器の使用実績が確認できる資料（作業日誌等）
2	キク、カーネーション、トルコギキョウ、花壇苗	EOD 加温処理技術の導入	EOD 加温処理技術導入（省エネルギー型暖房機、既設暖房機への多段式サーモ装置導入）により、生育促進や燃油削減が可能になり、収益が改善する。	機器の購入伝票 ハウス内での機器の写真 機器の使用実績が確認できる資料（作業日誌等）
3	カーネーション	CO ₂ 施肥技術の導入	CO ₂ 施肥による品質改善により生産安定につながる。	機器の購入伝票 ハウス内での機器の写真 機器の使用実績が確認できる資料（作業日誌等）
4	ストック	自動灌水技術の導入	自動灌水による生育促進、品質改善により生産安定、軽労化につながる。	機器の購入伝票 ハウス内での機器の写真 機器の使用実績が確認できる資料（作業日誌等）
5	花壇苗	日射制御型底面給水システムの導入	底面給水による自動灌水により生産安定、軽労化につながる。	機器の購入伝票 ハウス内での機器の写真 機器の使用実績が確認できる資料（作業日誌等）
6	ストック	EOD 光照射技術の導入	EOD 遠赤色光照射（EOD-FR）により、伸長促進効果が得られ、切り花の品質向上につながる。	機器の購入伝票 ハウス内での機器の写真 機器の使用実績が確認できる資料（作業日誌等）
7	施設花き	気化冷却マット底面給水及びEOD 冷房を組み合わせた昇温抑制技術の導入	夏季高温期における気化冷却マット底面給水及びEOD 冷房技術を組み合わせた昇温抑制技術の導入により、品質改善及び生産安定、収益改善につながる。	機器の購入伝票 ハウス内での機器の写真 機器の使用実績が確認できる資料（作業日誌等）

※ 果樹及び茶については対象技術の設定はありません。